

武蔵工業大学後援会誌[マイコム]

M/-COM

no. 36 2007.8

後援会長挨拶……p1

平成19年度 評議員会が開催される……p2

平成18年度 事業報告……p3

平成18年度 決算書……p5

平成19年度 事業計画……p6

平成19年度 予算……p7

平成19年度 役員・評議員……p8

平成18年度 「課外活動に対する補助」による援助……p9

Campus Topics……p11

平成19年度 「大学と父母との連絡会」のお知らせ……p15

写真：平成19年度 体育祭



後援会長挨拶

このたび相模前会長のご退任により、会長に就任しました榎本です。
世田谷区の弦巻というところで生まれ育ち、東急バスに乗り、
高校時代は玉電で渋谷まで通っていましたので、
今回の会長就任も何かのご縁と思っています。



武蔵工業大学後援会長

榎本 英雄

武蔵工業大学後援会は昭和63年12月に発足し、
平成元年から活動を始め今年で19年目を迎えました。
その間後援会は大学と協力して学生たちの充実した学生生活の向上を目指し、
多くの支援をしてまいりました。

おかげさまでご父母、大学関係者の方々のご理解ご支援により、
今日のような立派な後援会として活動を続けております。
現在の会員数は学部5789名、大学院534名で、ほぼ100%の加入をいただいております。

ご承知のように日本経済はバブルの不況を乗り越え、イザナギ景気を越える景気となっていますが、
実質GDPの伸びが毎年2%程度であり景気回復の実感が乏しいのが現実です。

また東京への一極集中による地域間格差、
及び輸出を中心とする製造業の好調さと非製造業の格差問題などが噴出しています。

このような状況下、学生の就職活動も売り手市場と言われておりますことは大変ありがたいことです。
その中で大学及び教育界は人材の供給という役割を担っていますが、
少子化の影響で実質的には大学全入の時代に入り、大学経営も大変難しい時代に入っています。

学生生活は学業及び研究はもちろん、課外活動や学園祭などの共同生活を通して
社会人としての人間形成をしていく場でもあります。
学生達が将来働くであろう社会は競争社会であるだけに、大学時代の仲間は一生の宝となります。

さらに現在武蔵工業大学には137名の留学生在籍し勉強をしていますので、
これらの留学生との親交を深めることで国際人の一人として育ててほしいと思います。

武蔵工業大学は本年創立78周年を迎え大きな岐路にたっています。
少子化が進展し大学経営も多角化、大規模化が避けて通れません。
ご承知のように東横短大との合併問題や校名変更など多くの難題が待ち受けていますが、
後援会としては大学と一緒に、よりよい武蔵工業大学作りにまい進していく所存です。

皆様方の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

*** 平成19年度 評議員会が開催される ***

武蔵工業大学後援会の平成19年度評議員会が、平成19年5月26日(土)午後2時45分から世田谷キャンパス3号館312教室において役員・理事33名(うち委任出席15名)、評議員93名(うち委任出席17名)、顧問1名、後援会事務局7名の出席のもとに開催されました。

評議員会の開催にあたり、相模会長より、後援会の概要や平成19年度の評議員、新評議員の説明があり、続いて、後援会事務局より平成19年度後援会入会者数及び会員数等についての報告があった後、議事に入りました。

議事は事務局より議案ごとに提案・説明され、その後、この説明に基づいて活発な意見交換のもとに審議し採決した結果、原案の通り可決、承認されました。

武蔵工業大学後援会 平成19年度評議員会

平成19年5月26日(土)
世田谷キャンパス312教室(五島記念館1F)

1.開会の辞 相模会長

2.報告事項

平成19年度後援会入会者数及び会員数について

3.議 事

第1号議案 平成18年度 事業報告について

第2号議案 平成18年度 決算報告について

2-1 平成18年度決算報告

2-2 平成18年度緊急奨学金特別会計決算報告

第3号議案 平成19年度 役員(案)について

第4号議案 平成19年度 事業計画(案)について

第5号議案 平成19年度 予算(案)について

5-1 平成19年度予算(案)

5-2 平成19年度緊急奨学金特別会計予算(案)

4.そ の 他

5.閉会の辞 千田副会長



※ 評議員会議事進行風景



※ 議事を進める相模会長



※ 中村学長の挨拶



※ 審議風景(312教室にて)



1 事業

1. 正課外教育援助

課外活動援助

●学生団体連合会への援助

援助費として17,500,000円を支給(平成18年7月14日)

●学科研究会等への援助

援助費として 500,000円を支給(平成18年10月2日)

●一般援助

申請により第1回、第2回、第3回合計35件、総額4,862,068円を補助

第1回 平成18年 7月 12日 9団体 (10件)

第2回 平成18年 11月 20日 8団体 (9件)

第3回 平成19年 1月 17日 14団体 (16件)

〈主な補助〉

- (1) 試合結果が優秀につき奨励としてラグビー部、アメリカンフットボール部、硬式庭球部、フットサル部に対し補助を行った
- (2) ラグビー部、アメリカンフットボール部にスポーツ保険加入の補助を行った
- (3) 学生団体連合会、文化団体連合会、YFAに対し、パソコン及び周辺機器等の購入費用の補助を行った
- (4) 航空研究部及び機親会に大会出場経費を、また写真部、グリーククラブ等にそれぞれ展覧会、演奏会の経費の補助を行った
- (5) ラグビー部に対し全国大会への出場経費の補助を行った
- (6) 新聞会に対し、全国大会出場団体取材のため、取材費用の補助を行った
- (7) アイスホッケー部、水泳部等の練習所確保のための学外施設使用料の補助を行った

●学生行事への援助

- (1) 文化団体連合会主催のバンドフェスティバルの運営費を補助



バンドフェスティバル

- (2) 体育会主催のナインラーの運営費を補助

●強化団体への援助

平成18年度の強化団体として指定したラグビー部、アメリカンフットボール部、アイスホッケー部、及びハンドボール部に対し、チーム強化のための資金を補助

●その他の援助

シャトルバスの運行費用

学生顕彰

- 大学の学生表彰(学長賞、学生部長賞、課外活動奨励賞)のうち、課外活動奨励賞を授与し、副賞を贈呈
- 在学中、課外活動に貢献した学生を選考し、21名に「後援会長賞」を授与し、副賞を贈呈

〈平成18年度「後援会長賞」受賞者〉

氏 名	所 属	主 な 功 績
染谷 泰央	機械	ハンドボール部 主将
福島 貴志	機械	硬式庭球部 主将
堀 隆浩	機械	ラグビー部 主将
賀川 茉萌子	電気電子情報	放送会 会長
鈴木 亮佑	電子通信	体育会本部(サッカー部) 厚生 体育祭実行委員会 実行委員長
八木 のぞみ	電子通信	MI-TECH祭実行委員会 実行委員長 文化団体連合会 本部長
市川 武	コンピュータ・メディア	学生団体連合会 総務 体育会本部(水泳部) 書記
菖蒲谷 洋平	コンピュータ・メディア	ソフトテニス部 主将
荻原 一真	建築	体育会本部(硬式野球部) 副会長
桑澤 勇士	建築	アメリカンフットボール部 主将
市倉 祥広	都市基盤	ハンドボール部 主将
河野 学	都市基盤	体育会本部 会長 アメリカンフットボール部 副主将
伊東 佳裕	システム情報	同好会連合(レッド・ストック・スキー同好会) 会長
沖崎 真悟	環境エネルギー	学生団体連合会(バドミントン部) 執行委員長
山ノ上 友裕	環境エネルギー	学生団体連合会 会計 体育会本部 企画 ゴルフ部 副主将
浅利 航希	環境情報	ISO学生委員会 代表
ウイッド・ナルコ	環境情報	吹奏楽団 副団長
郷 なおこ	環境情報	同好会連合(横浜CABOS) 横浜代表
石飛 俊	情報メディア	フットサル部 部長
上林 真也	情報メディア	Y.F.A. 会長
山本 梨絵	情報メディア	学生団体連合会横浜分室(新聞会) 分室長

学生の生活指導に対する援助

- 全学生団体を対象に「救命講習会」の受講を義務付けさせ、その受講費用を負担(1団体1名を義務付け、122名が参加)
- リーダーズ研修会における「テーピング講習会」実施に対し、補助



救命講習会

2. 「大学と父母との連絡会」の共催

- 全国24会場で開催された「大学と父母との連絡会」の費用の一部を負担
- 大学会場(世田谷・横浜)においては相模会長が後援会を代表して挨拶(平成18年9月30日)
- 地方会場においては、評議員の方々に会の運営等にご協力をいただいた

3. 大学行事への協力

- 体育会主催の体育祭への補助(平成18年5月)
- 学生団体連合会主催によるMI-TECH横浜祭への補助(平成18年6月)
- 学生団体連合会主催によるMI-TECH祭への補助(平成18年11月)



4. 学生厚生援助

- 横浜キャンパス(体育館)へスポーツミラー5台を購入
- 世田谷キャンパス(図書館)へ特注展示板(キャスト／両面照明付き)4式を購入

5. 会報の発行

- 後援会の会誌「MI-COM 34号」を刊行し、会員へ送付(平成18年8月)
- 後援会の会誌「MI-COM 35号」を刊行し、会員へ送付(平成19年1月)

6. 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)に対する援助

平成18年4月6・7日(工学部・環境情報学部)に実施された新入生を対象とした研修行事に対して補助

7. 就職活動に対して援助

進路・就職適正検査「自己発見レポート」(1年)、「自己プログレスレポート」(2年)、「キャリアアプローチ」及び「日経経済常識テスト」(3年)を実施

8. 後援会緊急奨学金

会員の家計急変により学業の継続が困難な学生に対して授業料相当額(全額又は半額)を貸与する緊急奨学金は、平成18年度は、対象者なし

9. 後援会案内等の送付

平成19年度各入学試験合格者の合格通知に後援会パンフレットを同封して発送

- 一般入試(前期) 平成19年2月10日(環)
平成19年2月12日(工・知)
- センター試験利用入試 平成19年2月10日(環)
平成19年2月12日(工・知)
- 一般入試(後期) 平成19年3月 4日(工・知・環)

10. その他(大学行事への協力等)

- 平成18年度入学式に相模会長が来賓として出席し祝辞(平成18年4月2日)
- 大学へ「課外活動奨励賞」の候補者の推薦依頼
- 大学へ「後援会長賞」の候補者の推薦依頼
- 平成18年度学位授与式に相模会長が来賓として出席し、後援会長賞を授与(平成19年3月19日)



後援会長賞授与

2 運 営

1. 理事会(2回)

- 平成18年5月20日(土)
 - 第1号議案 平成17年度 事業報告について
 - 第2号議案 平成17年度 決算報告について
 - 2-1 平成17年度決算報告
 - 2-2 緊急奨学金特別会計決算報告
 - 第3号議案 平成18年度 役員(案)について
 - 第4号議案 平成18年度 事業計画(案)について
 - 第5号議案 平成18年度 予算(案)について
 - 5-1 平成18年度予算(案)
 - 5-2 後援会緊急奨学金会計予算(案)
 - 第6号議案 武蔵工業大学後援会の個人情報保護の取扱いに関する基本方針(案)について

- 平成18年11月25日(土)
 - 第1号議案 平成18年度 後援会事業経過について
 - 第2号議案 後援会の次年度に向けての運営について
 - 2-1 平成19年度 後援会主要会議等日程(案)
 - 2-2 平成19年度 後援会役員、評議員構成(案)
 - 第3号議案 平成19年度フレッシュマン・キャンプ(新入生研修行事)の補助について
 - 報告事項
 - 1. 平成18年度「大学と父母との連絡会」の結果について
 - 2. その他

2. 評議員会(1回)

- 平成18年5月27日(土)
 - 第1号議案 平成17年度 事業報告について
 - 第2号議案 平成17年度 決算報告について
 - 2-1 平成17年度決算報告
 - 2-2 緊急奨学金特別会計決算報告
 - 第3号議案 平成18年度 役員(案)について
 - 第4号議案 平成18年度 事業計画(案)について
 - 第5号議案 平成18年度 予算(案)について
 - 5-1 平成18年度予算(案)
 - 5-2 後援会緊急奨学金会計予算(案)
 - 第6号議案 武蔵工業大学後援会の個人情報保護の取扱いに関する基本方針(案)について

なお、当日は評議員会に先立って、新たにお願いする評議員の方々の学内見学を行い、また評議員会終了後には、大学教職員との懇談会を開催した

3. 会計監査

平成18年4月22日(土)
辻、岡野両会計監査により、平成17年度の会計監査を実施

4. その他

後援会事務担当者の採用(専任 平成18年4月～平成19年3月)

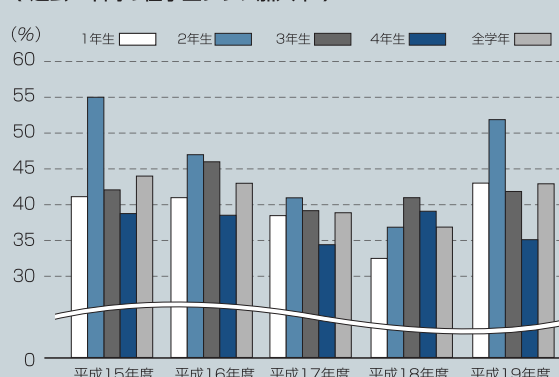
＜平成19年度後援会会員数＞(平成19年5月1日現在)

●学部		学年				
	学科	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
工学部	機械工学科	117	131	120	136	504
	機械システム工学科	78	113	104	135	430
	生体医工学科	40				40
	電気電子工学科(旧電気電子情報工学科)	102	108	101	133	444
	環境エネルギー工学科	86	82	78	79	325
	建築学科	102	128	114	132	476
	都市工学科(旧都市基盤工学科)	72	102	101	128	403
	機械学群	39				39
	電気・エネルギー学群	29				29
	建築・都市学群	27				27
知識 工学部	電子通信工学科		101	88	129	318
	コンピュータ・メディア工学科		102	100	129	331
	システム情報工学科		99	87	128	314
	情報科学科	91				91
	情報ネットワーク工学科	63				63
環境情報 学部	応用情報工学科	79				79
	情報学群	56				56
	環境情報学科	218	214	194	230	856
	情報メディア学科	241	238	208	277	964
	合 計	1440	1418	1295	1636	5789

●大学院

専攻	学年	修・博合計
工学研究科		
機械工学専攻	47	
機械システム工学専攻	54	
電気工学専攻	178	
建築学専攻	65	
都市基盤工学専攻	38	
システム情報工学専攻	48	
エネルギー量子工学専攻	54	
環境情報学専攻	50	
合 計	534	

＜過去5年間の在学生クラブ加入率＞



平成18年度 決算書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

科 目	平成18年度 予算	平成18年度 決算	差 異	備 考
(収入の部)				
1. 会費	72,280,000	72,230,000	50,000	◎新入生の加入者
2. 雑収入	13,000	13,253	▲ 253	◎利息収入
3. 前年度繰越金	6,003,504	6,003,504	0	
収入の合計	78,296,504	78,246,757	49,747	
(支出の部)				
事業費	61,536,000	57,211,980	4,324,020	
4. 正課外教育援助費	31,100,000	27,408,991	3,691,009	◎援助の内容については下表を参考
5. 父母連絡会費	4,200,000	3,816,889	383,111	◎全国各地で年1回大学と共催
6. 大学行事協力費	2,800,000	2,611,000	189,000	◎体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭等
7. 学生厚生援助費	700,000	1,470,000	▲ 770,000	◎厚生設備等への援助
8. 会報発行費	4,000,000	3,622,500	377,500	◎後援会広報誌の作成(2回)
9. 新入生研修行事費	11,536,000	11,536,000	0	◎全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
10. 就職活動援助費	7,200,000	6,746,600	453,400	◎就職関連テスト等
運営費	7,850,000	6,834,032	1,015,968	
11. 事務費	3,900,000	3,746,565	153,435	◎人件費、事務委託費、消耗品費
12. 会議費	800,000	671,354	128,646	◎理事会、評議員会等
13. 印刷・通信費	1,200,000	757,318	442,682	◎通知、案内の郵送、印刷代
14. 旅費・交通費	1,800,000	1,635,060	164,940	◎地方評議員、役員の旅費
15. 備品費	100,000	0	100,000	◎後援会関係の備品、什器
16. 雑費	50,000	23,735	26,265	◎振込手数料等
予備費	300,000	403,810	▲ 103,810	◎慶弔費等
特別会計	4,000,000	4,000,000	0	
17. 後援会基本積立	0	0	0	
18. 記念事業費積立	4,000,000	4,000,000	0	◎大学創立記念事業協力
19. 学生事故対策援助費積立	0	0	0	◎学生事故対策として1,000万円まで積立完了
20. 特別課外活動援助費積立	0	0	0	◎大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
小 計	73,686,000	68,449,822	5,236,178	
次年度繰越金	4,610,504	9,796,935	▲ 5,186,431	
支出の合計	78,296,504	78,246,757	49,747	

※予算に対し決算が超過した場合に▲印を付した。

正課外教育援助費内訳

科 目	平成18年度 予算	平成18年度 決算	差 異	援 助 対 象
正課外教育援助費	31,100,000	27,408,991	3,691,009	
課外活動援助費	29,900,000	26,514,108	3,385,892	◎(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用 (オ)は強化指定団体制度により運用
内訳				
(ア)学生団体連合会援助	17,500,000	17,500,000	0	◎学生団体連合会、体育会・文化団体連合会、同好会連合、MI-TECH祭実行委員会、MI-TECH横浜祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(イ)学科研究会等援助	800,000	500,000	300,000	◎学生団体連合会準加盟の学科研究会等各団体
(ウ)一般援助	7,500,000	4,862,068	2,637,932	◎課外研究、対外活動、情報収集活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(エ)学生行事援助	1,000,000	578,840	421,160	◎バンドフェスティバル、ナイトラリー等
(オ)強化団体援助	1,200,000	1,200,000	0	◎強化指定団体
(カ)その他の援助	1,900,000	1,873,200	26,800	◎シャトルバス援助
学生顕彰費	800,000	646,823	153,177	◎課外活動奨励賞、後援会長賞等
学生生活指導費	400,000	248,060	151,940	◎リーダー教育、救命講習会受講料援助等

緊急奨学金決算書

経 常 収 入 の 部	当 期 予 算	当 期 実 績
前 年 度 繰 越 金	12,723,221	12,723,221
緊急奨学金返済収入	3,993,500	993,500
利 息 収 入	80	6,256
経 常 収 入 計	16,716,801	13,722,977
経 常 支 出 の 部		
緊急奨学金貸付支出	2,680,000	0
貸 倒 損 失	0	0
雑 費	0	0
経 常 支 出 計	2,680,000	0
経 常 収 支	14,036,801	13,722,977

(単位:円)



1

事業

1. 正課外教育援助

学生の課外活動のより一層の活性化をはかるため、学生団体及び学生行事等に対して補助

課外活動援助

- 学生団体連合会へ課外活動の援助費
- 学生団体連合会へ準加盟の学科研究会の連合団体等へ組織運営のための援助費
- 一般援助の申請による補助
課外研究、対外活動、環境向上活動、情報収集活動、用具整備、特別企画、地域活動、活動奨励等
(援助希望団体・個人の申請に基づき、大学学生部の意見をを受けて決定)
- 学生行事への援助
スプリングフェスティバル、バンドフェスティバル、ナイトラリー、公開企画、特別行事等に対する補助
(援助希望団体・個人の申請に基づき、大学学生部の意見をを受けて決定)
- 強化団体への援助
関東リーグ相当クラスの上位リーグで活躍する団体に対して、チーム強化のための補助
(関東リーグ3部以上相当:関東ランキング24位前後以上を目安)
- その他の援助
シャトルバスの運行費用
アメリカンフットボール部の1部昇格に伴う補助

学生顕彰

- 課外活動奨励賞の授与
学生表彰授賞式において、課外活動奨励賞として、賞状及び副賞を授与
- 後援会長賞の授与
学位授与式(卒業式)において、課外活動に貢献した学生約20名を表彰し、賞状及び副賞を授与

学生生活指導

- 学生団体の責任者を対象とした「リーダーズ研修会」の費用の補助
- 安全教育として学生団体を中心に「救命講習会」の受講を義務付け、その費用を負担
- 学生(留学生含む)の国際交流活動に対し補助
- その他学生生活指導上必要とみとめられる事柄

2. 「大学と父母との連絡会」の開催

全国各地において「大学と父母との連絡会」を共催
今年度は、首都圏開催地を本学会場(世田谷キャンパス・横浜キャンパス)の他、新たに千葉、埼玉でも実施することとし、これらを含め23会場で開催、費用の一部負担
本学会場は、平成19年9月29日(土)を予定

3. 「役員・評議員と大学教職員との懇談会」の開催

平成19年5月26日(土)の評議員会終了後の懇談会にて大学教職員と後援会役員等と懇談

4. 大学行事への協力

大学及び学生が主催する大学行事(体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭)への協力
今年度は、学園祭活性化支援として、展示、研究発表の研究室への補助

5. 学生厚生援助

学生の厚生施設・設備の充実のための補助(学生利用施設)

6. 会報の発行

後援会の会誌「MI-COM」を年2回発行し、学内の動きを父母に連絡するとともに、誌面を通して会員相互の親睦をはかる

7. 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)への援助

毎年4月に実施する新入生対象のフレッシュマン・キャンプへの補助

8. 就職活動に対して援助

進路・就職適正検査「自己発見レポート」(1年)、「自己プロGRESSレポート」(2年)、「キャリアアプローチ」(3年)を実施

9. 緊急奨学金の貸与

会員の家計の急変により学業の継続が困難な学生に対し、授業料相当額(全額又は半額)を貸与

2

運営

1. 会議

理事会 2回 平成19年5月12日(土)、11月24日(土) 予定
評議員会 1回 平成19年5月26日(土)

2. その他

後援会事務担当者の採用(専任・アルバイト 平成19年4月1日～平成20年3月31日)



お・知・ら・せ

武蔵工業大学後援会
ホームページ随時更新!

本会のホームページはもうご覧になりましたか? 本会の事業内容・活動状況をはじめ、MI-COM(マイコム)のバックナンバー等、武蔵工業大学後援会に関する様々な情報を掲載しております。内容の更新も随時行っておりますので、是非ご利用ください。



ホームページアドレス

<http://www.comm.musashi-tech.ac.jp/~kouenkai>

平成19年度 予算

科 目	平成19年度 予算	備 考
(収入の部)		
1. 会費	72,560,000	◎新入生の加入者
2. 雑収入	145,000	◎利息収入
3. 前年度繰越金	9,796,935	
収入の合計	82,501,935	
(支出の部)		
事業費	62,948,000	
4. 正課外教育援助費	31,100,000	◎援助の内容については下表を参照
5. 父母連絡会費	4,500,000	◎全国各地で年1回大学と共催、今年度は四国廃止、千葉・埼玉開催
6. 大学行事協力費	3,600,000	◎体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭等、新たに学園祭展示参加研究室に補助
7. 学生厚生援助費	1,000,000	◎厚生設備等への援助
8. 会報発行費	4,000,000	◎後援会広報誌の作成(2回)
9. 新入生研修行事費	11,648,000	◎全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
10. 就職活動援助費	7,100,000	◎就職関連テスト等
運営費	9,350,000	
11. 事務費	5,400,000	◎人件費(事務員1.5名)、事務委託費、消耗品費
12. 会議費	800,000	◎理事会、評議員会等
13. 印刷・通信費	1,000,000	◎通知、案内の郵送、印刷代
14. 旅費・交通費	1,800,000	◎地方評議員、役員の旅費
15. 備品費	300,000	◎後援会関係の備品、什器
16. 雑費	50,000	◎振込手数料等
予備費	300,000	◎慶弔費等
特別会計	6,000,000	
17. 後援会基本積立	0	
18. 記念事業費積立	4,000,000	◎大学創立記念事業協力
19. 学生事故対策援助費積立	2,000,000	◎準備額1,000万円を2,000万円に変更し、今年度より新たに積立開始
20. 特別課外活動援助費積立	0	◎大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
小 計	78,598,000	
次年度繰越金	3,903,935	
支出の合計	82,501,935	

正課外教育援助費内訳

科 目	平成19年度 予算	援 助 対 象
正課外教育援助費	31,100,000	
課外活動援助費	29,900,000	◎(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用、(オ)は強化指定団体制度により運用
内訳		
(ア) 学生団体連合会援助	17,500,000	◎学生団体連合会、体育会・文化団体連合会、同好会連合、MI-TECH祭実行委員会、MI-TECH横浜祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会、
(イ) 学科研究会等援助	800,000	◎学生団体連合会準加盟の学科研究会等各団体
(ウ) 一般援助	7,500,000	◎課外研究、対外活動、情報収集活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(エ) 学生行事援助	900,000	◎スプリングフェスティバル、バンドフェスティバル、ナイトラリー等
(オ) 強化団体援助	900,000	◎強化指定団体
(カ) その他の援助	2,300,000	◎シャトルバス援助、アメリカンフットボール部1部昇格に伴う援助
学生顕彰費	800,000	◎課外活動奨励賞、後援会長賞等
学生生活指導費	400,000	◎リーダー教育、救命講習会受講料援助等

緊急奨学金予算書

経 常 収 入 の 部	当 期 予 算
前 年 度 繰 越 金	13,722,977
緊急奨学金返済収入	5,111,000
利 息 収 入	18,000
経 常 収 入 計	18,851,977
経 常 支 出 の 部	
緊急奨学金貸付支出	2,680,000
貸 倒 損 失	0
雑 費	2,000
経 常 支 出 計	2,682,000
経 常 収 入 支	16,169,977

(単位:円)



平成19年度 役員・評議員



役員 (敬称略)

会長	榎本 英雄	電気工学専攻	(新)
副会長	井上 淳	環境エネルギー	(新)
副会長	高瀬 経行	環境情報	(新)
会計監査	近藤 亮平	機械システム工学専攻	(再)
会計監査	野村 侃彦	情報メディア	(再)
理事	野口 雅人	機械工学専攻	(再)
理事	松井 敏明	電気工学専攻	(再)
理事	井澤 邦輔	環境情報学専攻	(再)
理事	森谷 正彦	電気工学専攻	(再)
理事	宮崎 尚	機械	(再)
理事	羽室 俊昭	電気電子情報	(再)
理事	落合 勇	電子通信	(再)
理事	山藤 幹夫	コンピュータ・メディア	(再)
理事	阿部 賢一	環境情報	(再)
理事	稲瀬 彰	機械	(再)
理事	関野 光久	電子通信	(再)
理事	前田 仁	都市基盤	(再)

理事	佐野 遵	環境エネルギー	(再)
理事	森 恵次郎	情報メディア	(再)
理事	竹内 清隆	機械システム	(新)
理事	平 博光	電子通信	(新)
理事	鈴木 博仁	コンピュータ・メディア	(新)
理事	平井 忠雄	建築	(新)
理事	小林 正弘	環境エネルギー	(新)
理事	荒川 秀雄	環境情報	(新)
理事	近藤 真一	環境情報	(新)

顧問	学長	中村 英夫
顧問	教授	浅野 鉦世



評議員 (敬称略)

長尾幸次郎	岡山県	電気工学専攻	(再)
桑田 哲夫	東京都	電気工学専攻	(再)
川本 裕資	群馬県	建築学専攻	(再)
水野 博次	神奈川県	機械工学専攻	(再)
猪熊 康夫	静岡県	電気工学専攻	(再)
菅原 次郎	神奈川県	都市基盤工学専攻	(再)
赤羽 功司	東京都	エネルギー工学専攻	(再)
石丸 栄一	福岡県	コンピュータ・メディア	(再)
関本 準一	新潟県	情報メディア	(再)
岡野利喜造	群馬県	機械	(再)
木下 真一	神奈川県	機械	(再)
森嶋 信夫	石川県	機械	(再)
内藤 節雄	徳島県	機械システム	(再)
菱沼 行男	茨城県	機械システム	(再)
古屋 優	東京都	電気電子情報	(再)
山田 昌義	静岡県	電気電子情報	(再)
伊藤 俊郎	宮城県	電子通信	(再)
中村 研八	東京都	電子通信	(再)
阿部 正	秋田県	コンピュータ・メディア	(再)
大塚 弘一	長野県	コンピュータ・メディア	(再)
遠藤 國雄	福島県	建築	(再)
谷内 正建	神奈川県	建築	(再)
三井 勝巳	富山県	都市基盤	(再)
安藤 隆雄	大分県	システム情報	(再)
桜井富美夫	東京都	システム情報	(再)
杉本 貴英	神奈川県	環境エネルギー	(再)
堀内 和代	長野県	環境情報	(再)
堀口友四郎	神奈川県	環境情報	(再)
山村 雅之	東京都	情報メディア	(再)
高橋 正憲	東京都	機械	(再)
永田 浩二	鹿児島県	機械	(再)
林 秀寛	沖縄県	機械システム	(再)

小野 浩孝	静岡県	電気電子情報	(再)
児玉 雅俊	東京都	電気電子情報	(再)
鈴木 正幸	静岡県	電気電子情報	(再)
長谷川淳治	神奈川県	電子通信	(再)
江崎 長昭	神奈川県	コンピュータ・メディア	(再)
杉山 淳史	北海道	コンピュータ・メディア	(再)
堤 唯見	千葉県	コンピュータ・メディア	(再)
柳 邦宏	神奈川県	建築	(再)
青沼 富重	長野県	システム情報	(再)
片山 勝美	愛知県	システム情報	(再)
久保田秀夫	東京都	システム情報	(再)
持田 康	山梨県	環境情報	(再)
小林 裕	神奈川県	情報メディア	(再)
猪俣 忠雄	静岡県	機械	(再)
深谷 智章	東京都	機械	(再)
鈴木 迭充	神奈川県	機械システム	(再)
久保 清美	福岡県	電気電子情報	(再)
小松 寛	北海道	電気電子情報	(再)
林 孝次	東京都	電気電子情報	(再)
亀井 朗	千葉県	電子通信	(再)
稲川 元	新潟県	コンピュータ・メディア	(再)
熊谷 孝二	宮城県	建築	(再)
酒井 満	福岡県	建築	(再)
大庭 政博	神奈川県	都市基盤	(再)
児玉 厚	茨城県	都市基盤	(再)
津田 博之	神奈川県	都市基盤	(再)
三浦 忍	広島県	システム情報	(再)
井内 敏明	広島県	環境エネルギー	(再)
越谷 健一	群馬県	環境エネルギー	(再)
齋藤 互	埼玉県	環境情報	(再)
荒木 泉	静岡県	情報メディア	(再)
田村 高弘	神奈川県	情報メディア	(再)

樋口 謙三	東京都	情報メディア	(再)
岩上 守宏	東京都	機械	(新)
浦田 哲郎	群馬県	機械	(新)
中武 正直	宮崎県	機械	(新)
久保田和俊	静岡県	機械システム	(新)
田中 耕一	東京都	機械システム	(新)
星野 順二	福岡県	生体医	(新)
渡會 英明	神奈川県	生体医	(新)
石名田広重	富山県	電気電子	(新)
小野田良夫	静岡県	電気電子	(新)
鈴木 宏之	福島県	電気電子	(新)
川俣 光雄	東京都	環境エネルギー	(新)
進藤 俊典	石川県	環境エネルギー	(新)
田中 信也	東京都	環境エネルギー	(新)
伊藤 直哉	千葉県	建築	(新)
植村 慶夫	新潟県	建築	(新)
日下部隆久	神奈川県	建築	(新)
鈴木 誠三	栃木県	建築	(新)
樋泉 由規	山梨県	建築	(新)
畠山 昌志	岩手県	都市	(新)
渡邊 裕明	埼玉県	都市	(新)
佐竹 純一	神奈川県	情報科学	(新)
藤井 智俊	広島県	情報科学	(新)
竹内 真一	東京都	情報ネットワーク	(新)
中河 吉秀	東京都	応用情報	(新)
石渡 光夫	神奈川県	環境情報	(新)
榎本 義己	神奈川県	環境情報	(新)
阪根 憲司	東京都	環境情報	(新)
岡崎 章浩	神奈川県	情報メディア	(新)
小林 清	神奈川県	情報メディア	(新)
堀内 忠	東京都	情報メディア	(新)

※(新)は新任、(再)は再任



平成18年度「課外活動に対する補助」による援助 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

後援会の事業の一つに「課外活動に対する補助制度」があります。

この制度は、学生たちが自主的な財源確保の努力と合わせて、補助を受けることで、一層の特色ある活動や、高レベルの活動が可能となることを期待して設けられたもの。キャンパスライフの充実に大きく貢献しています。

統括団体への援助

団体名	代表者名	申請件名	決定額
学生団体連合会	深水 聖司	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	17,500,000
学科研究会連合等	萩原 雅之 早田 貴子 望月 秀治 石橋 太郎 門谷 友樹	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	500,000

一般補助 第1回分

団体名	代表者名	申請件名	申請理由	決定額
新聞会	穴倉 隆文	航空研究部出場の「第30回鳥人間コンテスト」の取材補助	2006年7月22日、23日の二日間で行われる「第30回鳥人間コンテスト」に本学航空研究部が出場決定。その様子や結果を記録に収め学内に広報することは必要。しかし会場は滋賀県と遠方であり大会日程も二日間のため費用の捻出が困難である。	64,200
航空研究部	長澤 健一郎	第30回鳥人間コンテスト選手権大会出場	鳥人間コンテスト選手権大会は全国でテレビ放送される自作飛行機による飛行距離・タイムを競い合う大会である。開催30回目ということもあり新たな種目が生まれ、出場チーム数の制限もあり厳しい書類選考となったが、人力プロペラ機ディスタンス部門の審査を無事通過し出場決定。	100,000
		第30回鳥人間コンテスト選手権大会遠征費援助	左記大会に出場するためには、製作機体の運送費、部員の交通費等、遠征費が必要。部費以外に臨時徴収とOBからの寄付金を募っているが、機体製作費用がかさみ遠征費が不足している。	438,600
水泳部	高橋 和子	練習場レンタル料補助	本学にはプールがないため、5月の大倉山高校プールの使用まで、春期も屋内プールを週に1～2回練習場として使用。ゴールデンウィーク等をはさむため通常使用している辰巳国際水泳場を借りられることが少なく、代わりに1回のレンタル料が高いプールを使用。部費、部員からの臨時徴収では全て払うことが困難である。	15,000
ラグビー部	佐藤 大介	理工系リーグ優勝	左記リーグ戦において、全勝優勝を果たした。	100,000
卓球部	高木 宏	5部Cブロック優勝 4部昇格	5部Cブロック優勝。入れ替え戦にて4部昇格。	100,000
アイスホッケー部	酒巻 大納	年間リンク使用料補助	現在部員が20名(男18名、女2名)と、ここ数年部員数が減少。練習場使用料が高額なことから部員の負担が多くなっている。そのためスケートリンクでの練習を例年に比べ減らしてはいるが、3部昇格には今の練習量では足りないのが現状である。月々の部費、年2度の合宿費、インカレ遠征費等、一人あたりの負担が多く、これ以上の負担は困難である。	450,000
アメリカンフットボール部	桑澤 勇士	スポーツ保険補助	財団法人スポーツ安全協会によるスポーツ安全保険のアメリカンフットボール団体加入区分の年間掛け金が、1人あたり9,000円と最も高い。部費の徴収で運営努力をしているが、リーグ戦参加費の一部充当にしかない。	157,500
フットサル部	野辺 建一郎	神奈川県フットサルリーグ2005 3部優勝	左記リーグ戦において、我が部Woods bearは6戦中5勝1敗という優秀な成績で優勝を果たした。	100,000
機親会	萩原 雅之	機親会ムーブ班'06WEM3位入賞	昨年より「上位入賞」「綺麗な車体」を目標に新車体の製作を始めてきた。現在使用の車体は10年経過した強度面・安全面とも危険な車体であり、正確なデータも残っていない。他チームにはない新たな技術を盛り込み日々試行錯誤を積んだ結果、'06WEMでは堂々3位入賞を決めることができた。こうした技術向上を目的とした活動を更に進めていきたい。	60,000
合 計	9団体	10件		1,585,300

一般補助 第2回分

団体名	代表者名	申請件名	申請理由	決定額
文化団体連合会	渡辺 俊	プリンタの購入援助	現在1台保有のレーザープリンタの印刷状況が悪く修理を検討したが、購入費より修理代が高く、また書類等の印刷効率向上の面からもインクジェットプリンタの購入を希望。現予算からの捻出は非常に困難なため援助希望。	40,955
Y.F.A.	青山 真	外付HDDの購入援助	MI-TECH横浜祭に向け年間を通じパソコンにて各種書類の作成を行っている。現使用のパソコンは老朽化が顕著であり、保有している数多くの重要書類の紛失、破損の危険性が非常に高い。データのバックアップに外付HDDが必要な状況のため援助希望。	11,940
		インクジェットプリンタ購入援助	MI-TECH横浜祭に向け各種書類の印刷が必要であるが、現保有のプリンタは老朽化により様々な問題が発生し印刷が円滑に行われない。新たなプリンタの購入が早急に必要であり援助希望。	27,100
写真部	中野 寛子	他大学との合同展・その他学外展の補助	毎年2月に芝浦工大と合同で写真展を行っている。また4月にもみなとみらい21ギャラリーで学外展を行った。学外での展示会はギャラリー代がかさみ部員の負担にも限界がある。写真の引き伸ばし機もかなり老朽化しており貯蓄資金が必要な状況である。MI-TECH祭への出展もあり援助希望。	47,500
水泳部	柴田 洸輔	冬期練習場レンタル料の補助	本学には屋内プールがなく、10月以降は辰巳国際水泳場を週に1～2回、他、世田谷区総合運動場水泳場を練習場として使用。1回あたりの使用料が高く、部費や部員からの臨時徴収では全て払うことができず、補助希望。	15,000



ラグビー部	堀 隆 浩	スポーツ保険料の半額補助	スポーツ保険への加入に伴い、その半額を補助希望。	38,250
ソフトテニス部	佐 藤 敦	平成18年度春季大会結果	関東学生ソフトテニス春季リーグ戦7部優勝、6部昇格（3回連続昇格中）。関東理工系大学ソフトテニス春季リーグ戦3部優勝、2部昇格。関東理工系大学ソフトテニス春季選手権 藤井・菊地組第3位、岩村・小林組ベスト8。	100,000
アメリカンフットボール部	桑 澤 勇士	新入部員のスポーツ保険の補助	財団法人スポーツ安全協会によるスポーツ安全保険団体加入区分の年間掛け金が、一人当たり9,000円と最も高い。部員一人月々5,000円の部費徴収で運営努力をしているが、リーグ戦参加費の一部充当にしかならず補助希望。	72,000
機親会	萩原 雅之	2006全日本学生ソーラー&FCカーチャンピオンシップにおけるカテゴリ別3位入賞・大会特別賞受賞	延べ31チームカテゴリ別4チームの参加の中で、数少ない学生中心のチームでありながら左記大会で3位入賞、また大会特別賞として「ヒマワリ賞」を受賞した。しかし材料・パーツ等への投資可能な金銭があれば、より上位も可能である。人員輸送に多額の資金が必要であり車体製作に資金を使用できない状況のため補助希望。	10,000
合 計	8団体		9件	362,745

一般補助 第3回分

団 体 名	代 表 者 名	申 請 件 名	申 請 理 由	決 定 額
学生団体連合会	深水 聖司	大判印刷機購入及び出力用PC購入の補助	情報処理センターの大判印刷機を利用して大きな掲示物（ポスター等）を印刷していたが、利用制限の通達を受け印刷する場所がなくなってしまった。加盟団体からの要望もあり、大判印刷機購入の補助希望。	429,750
新聞会	穴倉 隆文	ラグビー部の全国大会出場に対する取材の補助	2007年1月に行われる「全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会」に本学ラグビー部の出場が決定。この部の記録を全校に広報することは要務である。試合会場が名古屋と遠方でありその費用を捻出することは困難なため、交通費の補助希望。	123,960
Y.F.A.	青山 真	部室パソコン購入の補助	MI-TECH横浜祭に向け部室のパソコンにて各種書類の作成や管理を行っているが、完全に壊れてしまい活動に支障をきたしている。大学のパソコンでは使用時間が限られており、主に使用しているソフトウェアもインストールされていない。部室パソコン購入の補助希望。	130,313
グリークラブ	甘楽 貴史	演奏会経費の補助	星薬科大学との合同演奏会を開催するにあたり音楽ホールの使用に多額の費用がかかり、また先生への謝礼等経費がかさんだため、補助希望。	14,000
鉄道研究部	齋木 翔太	機関誌「スチールカー」発行について	当部の研究活動成果発表のため、機関誌「スチールカー」を発刊、無料配布を実施。今年度の年間テーマは「首都圏の駅」で、MI-TECH祭にて高い評価を得た。高品質を上げるために多くの労力や資金を費やし部費で賄うには限界がある。補助希望。	20,000
航空研究部	観音寺 貴之	第16回モデルロケット全国大会出場の補助	左記大会に参加。高度競技にて第4位という成績を残した。しかしモデルロケットは日本ではあまり普及しておらず、エンジンや基本セットは輸入品を使用のため部の負担になっている。また参加費、交通費等もかなり部費から捻出することが難しい。補助希望。	15,000
硬式野球部	太田 昌	連盟費、分担金等の補助	連盟費が年間36万円と高額であり、OBからの寄付金や部員からの徴収でのやりくりが毎年厳しい状態である。補助希望。	100,000
水泳部	柴田 洸輔	冬期練習場レンタル料の補助	本学には屋内プールがなく、11月以降は辰巳国際水泳場及び世田谷区総合運動場水泳場を使用。1回あたりの使用料がそれぞれ5,000円、6,000円のため、部費及び部員からの臨時徴収では全て払うことができず、補助希望。	8,000
ラグビー部	佐藤 大介	全国地区対抗予選全勝優勝 全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会出場	9月から行われた全国地区対抗予選において全勝優勝を果たした。 地区対抗予選において全勝優勝し、2007年1月2日から行われる全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会に出場決定。宿泊費、交通費、備品等の補助希望。	100,000 1,449,000
硬式庭球部	西谷 允	関東理工科系個人トーナメント大会での活躍	平成18年度左記大会において男子ダブルス西谷・須藤ペアが優勝。男子シングルスにおいて福島第3位、西谷第4位。女子シングルスにおいて鈴木がベスト8という成績を残した。	30,000
ソフトテニス部	佐藤 敦	平成18年度秋季大会結果	関東学生ソフトテニス秋季リーグ戦6部優勝・・・全勝賞 岡部・中村組・千葉県観光協会会長賞 佐藤敦 関東理工系大学ソフトテニス秋季リーグ戦2部優勝・・・選手権 岡部・菊地組第2位 藤井・稲沢組第3位	100,000
ヨット部	柴田 明宏	セール(No.4)の破損	帆走中に突然、セールが破損。老朽化が原因と思われる。他のセール(No.1)を買い換える予定もあり、補助希望。	70,000
アメリカンフットボール部	桑澤 勇士	秋季リーグ戦参加費の補助 1部2部入替戦勝利 1部昇格	今年度は公共会場で試合が多く、秋季リーグ戦参加費がとても高い金額となった。月々5,000円の部費では参加費の一部充当にしかならず、補助希望。 2006年度の秋季リーグ戦において、2部Bブロック所属の全8チーム中5勝1敗1分で同率1位となり、2年連続入替戦出場となった。神奈川大学との入替戦は15-7で勝ち、悲願の1部昇格を果たした。	100,000 200,000
写真サークルナンシー	松本 剛士	外部ギャラリーでの写真展使用料の補助	毎年「12月展」として外部のギャラリーを借用して展示会を行っている。今年度もより立地条件の良い、集客が見込めるギャラリーで開催。同好会連合所属という性格上、同本部からの活動援助金のみでの展示費用の捻出は困難である。補助希望。	24,000
合 計	14団体		16件	2,914,023

2007スプリングフェスティバル

本学OB（株）ホテルオークラ東京 代表取締役総支配人

小川矩良氏特別講演会開催

武蔵工業大学を卒業してから3年後にホテルオークラに転職した小川矩良氏。現在は、ホテルオークラ東京の社長兼総支配人のほか、グループの常務取締役として、わが国が誇る高級ホテルの経営・運営を担っています。講演会では、外資系の進出により熾烈な競争にさらされるホテル業界の中、最高のホスピタリティで絶大な支持を受けるオークラの魅力を存分にお示しいただきながら、品質を高め、維持するための心構えをお話し下さいました。「大学での4年間に何をなすべきか」、示唆に富んだ講演の模様をダイジェストでご紹介いたします。



■小川矩良氏プロフィール

昭和45年武蔵工業大学工学部機械工学科卒業。溶接関係の仕事を経て、48年大成観光株式会社（現ホテルオークラ）に入社。 Guam、上海などでの勤務を経て、平成16年ホテルオークラ東京代表取締役社長総支配人に就任。平成18年ホテルオークラ取締役常務執行役員。

2月の日本経済新聞に、現在、3年以内に転職する新卒社員が4割にも上ると報じられていました。私の会社には約1000人の従業員がありますが、社員はみなオークラが好きだと思います。喜びや安心、愛着、満足を与えられているのではないかと思います。

ホテルオークラグループは、国内17、海外7つのホテルを擁し、アメリカ大使館のそばにあるホテルオークラ東京は1962年の開業以来、45歳になります。その間、メキシコ大統領の接遇や国際通貨基金の総会、東京サミットなどのお手伝いをさせていただき、最近ではスウェーデンのグスタフ国王が国賓として宿泊されました。

さて、ペニンシユラ、リッツカールトンなど、外資系のメガホテルグループが続々と日本に進出したため、ホテル業界の“2007年問題”が叫ばれています。私たちは「ベストACS(Accommodation、Cuisine、Service、)」、つまり「最高の施設、料理、サービスを提供する」という目標を掲げて、熾烈な競争に対応しています。

施設の点では、3年前から、バスルームを充実させたくつろぎの客室や、ジェットラグ(時差ボケ)を解消するための空間、1億円ものワインを備えるワインバー、天井から壁まですべて石で内装した宴会場など、さまざまな面をリニューアルしました。これまでの伝統を踏まえながら、新しい、素晴らしいものを採り入れるということで、私はこれを「ニュークラシック」と呼んでいます。

また料理に関しては、館内11のレストランで、お寿司屋さんを除くすべてを自前、従業員だけで営業しております。こうしたシステムで運営しているのは唯一オークラだけです。

ではベストサービスの面で何をすべきか、ということですが、従業員が非常に大切です。1000人の従業員が、きちんと身だしなみを整えて、応対、挨拶、姿勢、表情、それらすべてでサービスの気持ちをお伝えする。お客さまはオークラに来れば最高の

サービスが受けられると思っておられるのですから、24時間365日、片時も気を抜かず、変わらぬサービスを提供し続けなければいけません。

施設、料理、サービスをすべて最高の状態で維持するため、私は週80時間働いています。朝6時にオフィスに入り、前日の売上を確認してから7時にはロビーへ出てマネージャーから報告を受けます。それからレストランやキッチンなどを一回りするのですが、何もないときでも45分はかかります。何か支障があれば、8時半の朝礼でビシッと指示します。一般的には週40時間労働ですから、80時間というのはよほど好きでないとやっていけません。私はこの仕事が好きなのです。天皇皇后両陛下をはじめ、世界の賓客、国賓をお迎えできるのは、仕事冥利につきと感じています。

私は武蔵工業大学の機械工学科に1966年に入学し、学生生活を大いに楽しんでしまいました。無事4年で卒業し、溶接関係の仕事に就きましたが、大学で勉強しなかったため、同僚と話をしていても、仕事をしていてもよく分からない。3年間悩んだ結果、別の業界で働いてみようかと決心して、ホテルオークラに入社しました。卒業から10年間はとにかく大変で、こんなことだったらもっと勉強しておけば良かった(笑)。私は学生時代の4年間を大いに悔やんで、「とことんがんばろう」と奮起しました。そしてたまたま病氣もせず、この仕事が好きだったから、社長の座にあるのでしょう。4年間をどう過ごすか、というのは非常に重要です。フレッシュマンとして大学に入学した皆さんには、この4年、いや2年半くらいでぜひ自分の進むべき道を見極めていただきたい。自分の方向を見定めながら進んで行けば、仕事においても、人生においても、喜びや安心、愛着、満足を感じることができるはずです。

平成19年度 体育祭レポート

★ 熱気溢れるスポーツの祭典、新種目を加えてパワーアップ!

平成19年度体育祭実行委員長 村山 徹(都市基盤工学科3年)

平成19年5月15日(火)・16日(水)の二日間にわたり、武蔵工業大学体育祭が世田谷・横浜の両キャンパスで同時開催されました。過去最多の21競技で熱い闘いが繰り広げられました。



平成19年度 体育祭の総括

本年度の体育祭は途中の激しい雷雨の際、中断を余儀なくされましたが、運営に大きな影響はなく無事進行することが出来ました。

今年は、例年からある人気競技に加え、新競技として、世田谷でサッカーを再現したミニサッカー、横浜の空きスペースを利用したバスケットボールなどを加えて21種目を行いました。特に、新競技のミニサッカーは予想を超える人気で早々に申し込みを締め切ってしまう形となりました。当日もミニサッカーとバスケットボールは大変盛り上がり、来年度以降の人気競技となつてほしいと願っています。

参加者は世田谷、横浜両キャンパスで延べ3400人ほどあり、一般学生の日頃の運動不足も解決したと思います。

昨年度同様、耐久腕立て伏せの盛り上がりを残したまま閉会式を行いました。今年は事前に上位3組を招集しておき、表彰の時間短縮を試みました。また、入賞チームが一部体育会所属団体に片寄ってしまう傾向があり、1クラブの参加チームの制限等、改善すべき点が見られました。閉会式の時間短縮と共に来年度に

向けての反省点にしたいと思います。

体育祭をやり終えて、『決意と協力』が私の中に残った財産です。これは多くの期待を背負って体育祭を必ず成功させなければならないという決意。そして、一人では出来ないことを仲間と協力すること。『決意と協力』は私たち体育会本部が常に念頭に考えておかなければならないことだと思います。

最後に、これまで多くのご指導ご鞭撻をいただきました体育研究室を始め、多くの先生方、事務局の方々、体育会本部OBの先輩方に大きな事故や問題が起きず無事終了することが出来たことをご報告し、体育会本部を代表してこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

●世田谷キャンパス【開催種目】

卓球／バレーボール／相撲／腕相撲／ドッジボール／PK合戦／ソフトボール／リレー／3ON3／耐久腕立て伏せ／テニス／ミニサッカー／キックベース／綱引き／騎馬戦／ジャンプレース

●横浜キャンパス【開催種目】

フットサル／フリースロー／長縄／バトミントン／バスケットボール



第11回 MI-TECH横浜祭レポート

☆ 環境情報学部ならではの学園祭創りで、新たな一步を踏み出す

平成19年度MI-TECH横浜祭運営委員会会長 加藤 宏一郎(環境情報学科3年)

平成19年6月2日(土)・3日(日)、晴天の横浜キャンパスにおいて第11回MI-TECH横浜祭が開催されました。来場者体験型のさまざまな企画を盛り込み、学部カラーに溢れた学園祭は今年も大盛況でした。



今年度、我々は運営方針である「特色で魅せる学園祭を創る」に沿って活動を進めてきました。「第11回という新しいスタートラインに立つこと」「より武蔵工業大学環境情報学部らしい学園祭を創るということ」「来場者が体験できる学園祭企画の運営をするということ」を意識し、新しい取り組み、過去からの取り組みの向上に力を注ぎました。新しい取り組みとして、環境分野であるゴミ問題を来場者が実践できるゴミ分別システム「ゴミナビゲーションシステム」の導入を行いました。また情報メディア分野にも目を向け、学内外から作品募集を行った「環境映像コンテスト」の実施、学内を声でつなげる「ミニFM企画」の実施を行いました。そして過去から続いてきた「DRPシステム」を今年度は来場者も体験できるシステムへ変更するなど、様々な新しい取り組みを行ってきました。どの企画も来場者の皆様から良い声をいただきました。今年度は、今後の学園祭への新たな一步を踏み出せたと思います。

当初懸念されていた麻疹も大学側の迅速な対応により拡大する事もなく、また6月という梅雨の時期にもかかわらず当日は両日とも近年にない快晴の下、学園祭を実施することが出来ました。

地域のNPO団体と協力した環境企画や子供たちが遊べる大型遊具の設置、研究室による体験型企画など来場者がいたるところで楽しめる内容であったと思います。来場者数は一万人を超え、大盛況で学園祭を終えることが出来ました。

様々な企画を運営していくことが出来たのも第11回の学園祭に協力して下さった教職員や家族、その他多くの関係者の皆様に支えていただいたからだと思います。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

企画内容

- 6/2(土) ●開祭式 ●神輿 ●講演会 ●映像コンテスト ●クイズ+ゲーム
●ミスター・ミスコン候補者お披露目 ●ビンゴ ●研究室発表・展示
●クラブ発表・展示 ●フリーマーケット ●スタンプラリー ●音楽LIVE ●バレーンードーム ●フットサル大会
- 6/3(日) ●アーティストLIVE ●演奏会 ●演武会 ●ゲーム ●研究室発表・展示 ●クラブ発表・展示 ●音楽LIVE ●フリーマーケット
●スタンプラリー ●バレーンードーム ●ストリートパフォーマンス
●フットサル大会 ●閉祭式 ●後夜祭

フレッシュマンキャンプレポート

☆たくさんのイベントや新しい仲間との共同作業で、充実の2日間

情報メディア学科 1年F組担任 大谷 紀子



フリーコミュニケーションアワー



ミニ運動会



フレンドシップアワー



フリーコミュニケーションアワー



クラス担任ガイダンス



グループワークアワー(飯盒炊さん)

平成19年4月6～7日、富士北麓に位置する富士緑の休暇村において、環境情報学部フレッシュマンキャンプが開催されました。長縄跳びや馬跳びでクラスメイトとの交流を深めたミニ運動会、学生生活に関して先生や先輩に相談し、不安や悩みが一気に解消されたフリーコミュニケーションアワー、煙で目を真っ赤にしながらも、最高に美味しいカレーライスを味わった飯盒炊さんなど、イベント盛りだくさんの2日間でした。

2日目のクラス担任ガイダンスでは、クラスごとに担任の趣向を凝らした時間を過ごしました。情報メディア学科1年F組では「中川駅から横浜キャンパスまでの案内図を描こう」という課題でグループワークに取り組みました。初めての人にはわかりやすいルートや適切な目印などについて仲間と相談しながら、決められた時間内に案内図を仕上げ、グループごとに発表するという一連の作業を通して、これから大学で学ぶために必要な意識や素養を感じ取ったのではないかと思います。学生スタッフの2・3年生にも同じ課題に取り組んでもらいましたが、先輩方のプレゼンの上手さに思わず全員が拍手喝采!「1年後には自分も先輩方の

ようになれるよう頑張ろう」と皆が心に誓ったことでしょう。

横浜キャンパスに帰着したときの充実感あふれる目の輝きを忘れずに、これからの大学生活を送って欲しいと切に願います。

日程

4/6(金)	9:30	大学集合
	9:50	開講式(横浜キャンパス体育館)
	10:30	大学出発(横浜ICより東名高速道路)
	11:30	昼食(環境:足柄SA、情メ:海老名SA)
	14:00	現地着、ミニ運動会(環境:鳴沢村体育館、情メ:休暇村体育館)
	16:30	フリータイム(入浴等)
	18:00	夕食(2階食堂、クラスの班ごとに着席)
	19:00	フレンドシップアワー(休暇村体育館)
	20:30	フリーコミュニケーションアワー(2階ホール)
	23:00	消灯
4/7(土)	7:00	朝食(2階食堂)
	9:00	クラス担任ガイダンス(セミナーハウス等)
	10:30	学生生活ガイダンス(休暇村体育館)
	11:00	グループワークアワー(飯盒炊さん)
		昼食(メニューは自分達で作ったカレーライス)
	14:00	片付け
	14:30	バス乗車、出発
	17:30	大学到着、解散

事務局便り



横浜キャンパス
副学生部長
中原秀樹

いつも後援会活動に、ご理解、ご支援を頂き心から感謝しております。私は横浜キャンパスにある環境情報学部の学生部責任者を勤めさせていただいております中原秀樹と申します。「持続可能な消費」という環境と経済のかかわりについて研究・教育をしています。専門分野の関係から横浜キャンパスでは学生・教員・職員が一体になったISO14001への取り組みを始め、学生たちによる横浜市内176校に対する小学校への環境出前講座の実施など地域密着型の学生活動を推進しています。また5月30日には「ごみゼロの日」ということで、本学が提唱した「世田谷環境大学連合」で横浜キャンパスの学生が世田谷区内の学生たちに混じって、レジ袋削減キャンペーンを終えたばかりです(写真参照)。地域に愛され、地域に貢献する素晴らしい学生たちの育成に今後も全力を傾けてまいります。



5月31日付毎日新聞朝刊

✧◆平成19年度◆✧「大学と父母との連絡会」のお知らせ✧◆

全国23ヶ所
で開催

後援会と大学との共催により平成19年度「大学と父母との連絡会」を下記の23会場で開催します。大学側から教職員の方が出席され、教育方針や現況等について説明していただくと共に、在学する子女の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。奮ってご出席ください。

✧ 平成19年度「大学と父母との連絡会日程および会場」

開催地	開催日	時間	会場
札幌	9月 8日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	札幌全日空ホテル 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1丁目2-9 (TEL 011-221-4411)
仙台	9月 2日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテルJALシティ仙台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-2-12 (TEL 022-711-2580)
郡山	9月 1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	郡山ワシントンホテル 〒963-8001 郡山市大町1-3-3 (TEL 024-923-1311)
宇都宮	9月 2日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	チサンホテル宇都宮 〒321-0964 宇都宮市駅前通り3-2-3 (TEL 028-634-4311)
水戸	9月 8日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	三の丸ホテル 〒310-0011 水戸市三の丸2-1-1 (TEL 029-221-3011)
千葉	9月16日(日)	受付開始 10:15 開 催 10:30~12:30	京成ホテルミラマーレ 〒260-0014 千葉市中央区本千葉町15-1 (TEL 043-222-2111)
さいたま	9月 8日(土)	受付開始 10:15 開 催 10:30~12:30	浦和ロイヤルパインズホテル 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-5-1 (TEL 048-827-1111)
東京	9月29日(土)	受付開始 11:00 開 催 12:15~15:30	武蔵工業大学 世田谷キャンパス 〒158-8557 世田谷区玉堤1-28-1 (TEL 03-3703-3111)
横浜	9月29日(土)	受付開始 10:00 開 催 10:30~14:00	武蔵工業大学 横浜キャンパス 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西3-3-1 (TEL 045-910-2500)
高崎	9月 9日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテルメトロポリタン高崎 〒370-0849 高崎市八島町222 (TEL 027-325-3311)
新潟	9月 8日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテルサンルート新潟 〒950-0087 新潟市中央区東大通1-11-25 (TEL 025-246-6161)
甲府	9月 1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテル談露館 〒400-0031 甲府市丸の内1-19-16 (TEL 055-237-1331)
長野	9月 1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテルJALシティ長野 〒380-0834 長野市問御所町1221 (TEL 026-225-1131)
富山	9月 9日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	名鉄トヤマホテル 〒930-0004 富山市桜橋通り2-28 (TEL 076-431-2211)
金沢	9月 8日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	金沢都ホテル 〒920-0852 金沢市此花町6-10 (TEL 076-261-2111)
三島	9月 8日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	三島グランドホテル 〒411-0035 三島市大宮町3-18-33 (TEL 055-975-4300)
静岡	9月 9日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	シーグランド清水ステーションホテル 〒424-0816 静岡市清水区真砂町3-11 (TEL 0543-67-5300)
浜松	9月 1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	オークラアクティホテル浜松 〒430-7733 浜松市板屋町111-2 (TEL 053-459-0111)
名古屋	9月 2日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテルアソシア名古屋 〒450-0002 名古屋市中村区名駅一丁目1-2 (TEL 052-561-3751)
広島	9月 8日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	リーガロイヤルホテル広島 〒730-0011 広島市中区基町6-78 (TEL 082-502-1121)
福岡	9月 2日(日)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテル日航福岡 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-18-25 (TEL 092-482-1111)
鹿児島	9月 1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ブルーウェーブイン鹿児島 〒892-0844 鹿児島市山之口町2-7 (TEL 099-224-3211)
那覇	9月 1日(土)	受付開始 9:45 開 催 10:00~12:00	ホテルロイヤルオリオン 〒902-0067 那覇市安里1-2-21 (TEL 098-866-5533)